

基本計画28 廃棄物対策、リサイクルの推進

現状と課題

循環型社会を実現していくためには、大量消費から発生する大量の廃棄物を「出さないこと」「繰り返して使うこと」「資源として再利用すること」が重要であり、限りある資源を大切にすることは、時代の趨勢となっています。

本市におけるごみの排出量は、市民などの協力や理解のもとに減量化への取組をしてきた結果、年々減少傾向にあります。市民一人当たりの減少率は僅かであることから、今後においてもごみの減量化に取り組んでいく必要があります。

中でも排出量の半分以上を占める燃やせるごみについては、「クリーンおしま」で焼却処理をしていますが、設備の耐用年数を迎えることから、施設の長寿命化を図ることが必要となります。

また、従来まで埋立処分による処理をしていた燃やせないごみなどは、浸出水の管理などに伴う将来の財政負担等を検討した結果、処分方法の転換をし、平成26年10月からは破砕処理後にセメント製造での燃料や原料としてリサイクルをしています。

しかし、これらのごみの一部には、破砕処理困難物やセメント原料として受入不能な不適切物があることから、埋立による処分が必要となります。

施設での適切な廃棄物処理がされている一方で、いまだ不法投棄などの違法行為も後を絶たない状況にあることから、今後においても、適切な対策を講じていく必要があります。

■ごみ処理の推移

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
計画収集人口(人)	48,477	48,101	47,769	47,369	47,041
年間排出量(t)	15,388	14,822	14,235	14,179	14,188
燃やせるごみ(t)	7,665	7,402	7,244	7,191	7,290
生ごみ(t)	3,739	3,708	3,639	3,822	3,745
燃やせないごみ(t)	1,223	1,018	864	580	547
プラスチック製容器(t)	376	388	368	349	350
別回収燃やせるごみ(t)	400	401	398	374	331
粗大ごみ(t)	309	318	215	292	358
資源ごみ(t)	1,676	1,587	1,507	1,571	1,567
年間排出量のうち家庭系ごみ排出量(t)	11,680	11,241	10,760	10,581	10,431
1人1日当たりのごみ排出量(g)	660	640	617	612	608

成果指標

No.	指標名及び説明	現状値	将来目標値
1	家庭系ごみ排出量（一人当たり日平均）	608 g/人・日	
2	リサイクル率	56.0%	
3	不法投棄の状況	1,012 個	

[成果指標の現状値・将来目標値について]

- 1 現状値は、平成28年度実績。
- 2 現状値は、平成28年度実績。
- 3 現状値は、平成28年度実績。

主要施策

1 ごみの減量化とリサイクル化の促進

- ① ごみの排出量については減少傾向にあるものの、今後も市民への啓発を行い、学校とも連携しながら、小学生の施設見学や社会科副読本による授業を実施し、ごみの減量化に対する市民意識の醸成を図ります。
- ② ごみ排出量の半分以上を占める燃やせるごみには、資源ごみや生ごみの混入があることから、分別の徹底によるリサイクル化を推進するためにも、ごみ分別出前講座や広報紙による周知のほか、町内会などによる集団資源回収の協力により、一層のリサイクル率向上に努めます。
- ③ 生ごみについては、平成19年11月から燃やせるごみから分離して処理していますが、引き続き、市民や事業者に対しては水切りや燃やせるごみからの分別を徹底することにより、リサイクルの推進に努めます。
- ④ 資源ごみや古衣料の分別は、循環型社会を実現していく上で不可欠である「3R」のうちの、リユースとリサイクルを推進するために大変有効であることから、市民や事業者の適切な分別の徹底を推進していきます。

2 ごみ処理体制の充実

- ① クリーンおしまの長寿命化については、多額の事業費を要することから、国の基幹的設備改良事業による補助金の活用を前提に、渡島廃棄物処理広域連合の構成市町で協議を行い、設備改修に努めます。
- ② 破碎処理ができないごみを将来にわたって埋立処分するには、中山一般廃棄物最終処分場の埋立量を増量する必要があることから、北海道と協議をしながら容量の確保に努めます。

3 不法投棄対策

- ① 不法投棄される廃棄物については、後を絶たない状況にあることから、市民や事業者からの通報のほか、パトロールの強化や監視カメラ及び看板の設置による抑制を図りながら、関係機関との連携を強化し、不法投棄の防止に努めます。

■リサイクル率の推移

区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
年間総排出量の内訳	年間総排出量(t) (C=A+B)	16,892	16,314	15,742	15,598	15,600	
	集団資源回収量(t) (A)	1,504	1,492	1,507	1,419	1,412	
	年間排出量(t) (B)	15,388	14,822	14,235	14,179	14,188	
	生ごみ(t) (D)	3,739	3,708	3,639	3,822	3,745	
	プラスチック製容器包装(t) (E)	376	388	368	349	350	
	古衣料(別回収燃やせるごみ) (t) (F)	1	3	4	148	309	
	小型家電(燃やせないごみ) (t) (G)	-	-	46	101	114	
	破碎処理ほか(燃やせないごみ、粗大ごみほか) (t) (H)	335	391	689	1,149	1,237	
	資源ごみ(t) (I=J+K+L+M+N)	1,676	1,587	1,507	1,571	1,567	
	資源ごみの内訳	缶類(t) (J)	245	188	168	140	170
		瓶類(t) (K)	438	439	429	406	396
		ペットボトル(t) (L)	187	174	159	159	160
		金属類(t) (M)	115	121	143	244	240
		古紙類(t) (N)	691	665	608	622	601
資源化ごみ量(t) (O=A+D+E+F+G+H+I)	7,631	7,569	7,760	8,559	8,734		
リサイクル率(%) (O/C×100)	45.2	46.4	49.3	54.9	56.0		

■不法投棄の推移

区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
家電類(台)	76	134	83	45	43
自転車(台)	84	153	177	38	44
廃タイヤ(本)	221	615	675	255	245
可燃ごみ(袋)	54	19	72	176	98
不燃ごみ(袋)	187	526	396	96	485
その他(個)	138	222	315	47	97
合計	760	1,669	1,718	657	1,012